

1. 日常の学習状況・課題について

学習状況

小学校における基礎技能の習得に個人差があるものの、全体的に学習意欲がある生徒が多い。

授業規律は良好で授業展開もスムーズに行われている。

課題

①学習した知識や習得した技能を実生活で使う機会が少ないため、生活をより良くするために工夫し、創造する力が乏しい。

②基礎技能の習得レベルに個人差があり、実習を行う際、進度差が生じる。

③知識を得ることを重視し、実生活にどのように生かされるかを理解してない。

2. 改善の計画

- ① チャイム着席を呼びかけるとともに、授業の始めと終わりの挨拶を徹底する。
- ② ワークシートを單元ごとに作成して、指導を行う。その際、記入の仕方を指導し、單元が終わるごとに回収して評価を行う。返却時に、理解していない部分がある場合は、補足説明を行う。
- ③ ICT 機器(書画カメラ・プロジェクター)を活用し、視覚化することで興味関心をもたせ、理解を促進させる。
- ④ 作品は、最後までやり遂げる充実感や完成させる喜びを体験させ、自己肯定感を高められるようにする。必要に応じて、放課後に補習を行う。
- ⑤ 環境と生活について考える題材を多く取り上げ、新聞やニュースの話題を例にするなど、社会と実生活のつながりについて実感できる機会を増やしていく。
- ⑥ 生徒自身の生活体験を豊かにさせるとともに、生活を大切にしていこうという意識を育ていく。そのために、家庭学習として学んだことを実践する課題を出して取り組ませて、自立する力を身に付けさせる。
夏・冬・春休みに「課題と実践」に取り組ませる。(宿題)

3. プランの評価方法

- ① 授業アンケートを実施し変容を見る。
- ② ワークシート、作品の点検を行う。
- ③ 授業内で生徒の取り組みを観察する。